

1 子育て支援について

(1) 児童虐待について

2017年度に県内の児童相談所が対応した児童虐待相談件数が12年ぶりに減少したが、政府は児童虐待防止の緊急対策を発表した。これは、3月に東京で起こった5歳女児の痛ましい事件が契機となったもので、児童相談所任せでは限界があり、市町村の協力が重要との新聞記事もある。悲劇を繰り返さないためにも、行政や地域が取り組んでいく事があると考え、以下を伺う。

- ① 磐田市の虐待防止の取り組みについて伺う。
- ② 今後の行政や地域の取り組みに対する市長の見解を伺う。

(2) 子ども食堂・居場所づくりについて

全国で子ども食堂が2200カ所以上あるが、磐田市の現状は法人で1カ所開設済みと開設計画中が数カ所あると聞いている。貧困家庭支援のためにスタートしたのが最初だが、今では子育て支援や子どもと地域住民による交流など、様々な役割が見えてきている。そこで、この様な地域での活動に対して以下を伺う。

- ① 地域での子ども食堂の役割に対する市長の考えを伺う。
- ② 磐田市の支援について伺う。

2 防災・減災について

(1) 感震ブレーカー設置費補助事業が始まり、今まで以上に地域で防災・減災意識が高まるものと期待している。現在の進捗状況と事業を進めるための課題・対策等、以下を伺う。

- ① 現在までの申し込み状況と計画との比較について伺う。
- ② 今後の課題と対策また展望について伺う。
- ③ 空き家所有者に対しての設置推進の考えを伺う。

3 農業における自然災害対策について

(1) 気候変動の激しい昨今、特に今年の夏の猛暑、また大型台風接近、局部的豪雨などが原因の災害被害が各方面で懸念される。その中でも天候で大きく左右される主要産業のひとつである農業産業の災害支援・対策について伺う。

- ① 今年度の農産物に対しての被害状況を伺う。
- ② 生産量の減少による所得減収や農業施設への被害に対しての支援について伺う。
- ③ 今後、気候変動による災害対策について伺う。

4 風疹の予防接種について

(1) 2013年以来、5年ぶりに大流行の兆しを見せている風疹だが、厚労省が「風疹に関する特定感染症予防指針」で、「早期に先天性風疹症候群の発生をなくすとともに平成32年度までに風疹の排除を達成すること」を目標にしている。風疹の感染拡大を防止するためには、30～50代の男性に蓄積した感受性を減少させる必要があり、それがワクチン接種によって予防可能になる。全国でも接種補助事業を立ち上げる市町も増えているが、磐田市の対策について伺う。

- ① 磐田市の接種補助の考えと方向性を伺う。
- ② 磐田市の感染対策について伺う。